

優れた活動等に対する表彰

学生自らが地域への貢献活動やボランティア活動などに積極的に参加することを薦め、それらを評価し、特に優れた活動を表彰する制度を設けています。毎年若干名の学生を地域貢献活動等優秀賞に決定し、地域貢献活動等優秀賞表彰式を行っています。表彰された一部の学生を紹介します。



仲地 星河さん【児童学科】

(活動内容)

- ・四国大学ゴールデンZクラブでの活動（3年時には副会長として会員のサポート）
- ・ミカン・ユコウ収穫支援
- ・小学生お仕事体験キッズタウン運営サポート
- ・なると島田島ハーフマラソン運営サポート
- ・地域の祭りでのエイサー披露

(コメント)

ボランティア活動を通じ、人との繋がりや人の温かみを身をもって感じることができました。また徳島の自然や文化の魅力について知る機会も多く、大学4年間でかけがえのない体験・経験ができました。今後も、地域や社会、自分の成長のために様々な活動に取り組みます。



グエン タイントウンさん 【ビジネス・コミュニケーション科】

(活動内容)

- ・地球を守ろう！（清掃ボランティア）
1回目、吉野川沿い、ゴミを拾うプロジェクト
2回目3回目、小松海岸清掃プロジェクト
- ・ゆずちぎり隊
木頭村でのゆずを収穫支援

(コメント)

地球を守ろう！という企画を通して、ゴミをたくさん拾うことができると共に、先生方や先輩を知り、友達も作ることができました。一番勉強になったことはゴミ分別の大切さです。ゆずちぎり隊の活動では、日本の各地域の文化の知識を広げることができました。

これからも出来ることを積極的に全力で頑張りたいと思います。

「とくしまボランティアパスポート事業」を開始

学生のボランティアを奨励することを目的に、令和3年度から徳島県の「とくしまボランティアパスポート」事業に参画しています。徳島県が発行するとくしまボランティアパスポートを活用してボランティアを学び、体験し、活動実績に基づき表彰する制度です。SUDAChI CARDとは異なり単位認定はありませんが、必要時間達成することで学長修了証交付や、知事表彰に繋がります。これにより、1回のボランティア活動でSUDAChI CARDとボランティアパスポートの両方に押印できるようになりました。



●とくしまボランティアパスポート●

令和3年度とくしまボランティアパスポート発行人数 130人(令和4年3月31日時点)

地域研究

「まなびーあ徳島 新あわ学コース」

「新あわ学コース」は、徳島のことについて歴史や文化などを体系的に学び、地域に愛着と誇りを持ち、徳島の魅力を再発見していくことを目指しているコースです。



「あわ検定」

「あわ検定」は、徳島の歴史・文化・自然・産業・くらしなどについて深く掘り下げるとともに、その魅力を再発見・再認識していただき、さらに観光振興にもつなげ、徳島の活性化を図ることを目的とした検定です。

四国大学 地域教育プログラム

全学共通科目

地域教育に関する 教育課程 (大学・短期大学部共通)

専門科目

自由科目

四国大学では、これからの社会を担い新しい時代を切り拓いて社会をリードする人材を育てるために、教育内容や教育方法などの改革を進めています。本学が進める教育改革の中で、これからの地域社会で地域創生を担う若い世代が身に付けることが必要なものを体系的に整理して、「四国大学地域教育プログラム」を作成しました。このプログラムでは、より多くの学びの成果を得るために、大学と地域社会の関係者が協力・協働して地域の課題を解決するための知識や技術を身に付けることを目指しています。これからの変化する時代を生き抜き、永く続く社会の担い手となることを、学生に期待しています。

地域教育プログラムの流れ

この地域教育プログラムは、地域教育分野の「全学共通科目」、学生の自主的活動を基にした「自由科目」、地域志向型の「専門科目」及び新「あわ学」への取り組みなどの「地域研究」で構成されており、それぞれの内容がつながりをもって新しい地域教育を目指した構成となっています。

全学共通科目(地域連携科目)

全学共通科目の地域連携科目群に地域教育分野を設定しています。

1年生

●消費者市民社会

「契約の基礎知識」「生活設計や金銭管理」などを学ぶことにより、消費者トラブルから自分を守り、危険を回避するための知識を身に付けることを目指します。

●地域未来探求 ●徳島の歴史と文化 ●災害と防災



2年生

●四国いやしの道 ※短期大学部は1年次で開講します。

●地域創生入門

グループワークなどのアクティブラーニングを取り入れながら、徳島の新たな面を発見し、未来に向かって広がる可能性を多角的に見つめていきます。<より深い知識のもとに再発見した徳島について自分の言葉で説明することができる><や<徳島の将来や地域創生について主体的に考えることができる>を到達目標として掲げ、この地で暮らすこと、学ぶことや働くことに喜びや誇りを感じることができるようになることを目指します。



専門科目(地域志向型科目)

全ての学生が全学共通教育で地域に関する知識や技術を学んだ後に、各学科・専攻の専門科目においても、地域に関する内容を含んだ授業科目(地域志向型科目)を設けています。

※学科によっては1年次から開講するものもあります。

3年生・4年生

●科目の一部を紹介 ●

●文学部日本文学科【日本文化史演習】

徳島県内のお寺の聖教、古文書、宝物の調査・研究の他、図書館、資料館においても宝物、古文書、展示物の調査・研究を行い、その成果の発表を公開の場で学生が行います。



●経営情報学部経営情報学科【地域経営論】

発展する地域と衰退する地域の違いは何かというテーマのもとに、地方都市や農山村部それぞれの地域のあり方や目指す方向性について考えます。地域づくりに参加する住民の立場から地域経営の主体について具体的に述べることができますようになりますことを目指しています。



●短期大学部ビジネス・コミュニケーション科【地域ビジネス演習】

徳島県の様々な地域資源について学び、その魅力を広く発信するためのフィールドワークを実施します。徳島ならではの魅力をプランディングする上で、地域の活性化や地方創生の観点から、その地域が抱える課題を発見し解決に向けた提案を行うことを目指します。



自由科目(地域教育関連科目)

自由科目として開設する「地域貢献・ボランティア活動Ⅰ」、「地域貢献・ボランティア活動Ⅱ」や「地域企業等研究活動」の3科目は、学内での講義や演習による授業ではなく、学生自らが在学中に学内外での社会に対する貢献活動、ボランティア活動や自らのキャリア形成、就職活動の準備に役立つ地域の企業等を研究する活動を行って、定められた時間数を積み上げることによって授業科目の学修として単位を認定するものです。この科目は、学年を問わず全学生が対象となります。

「SUDachi CARD」と単位認定の流れ

〈カード発行〉



〈対象となる活動〉



〈押印〉



活動1時間につき1印

単位の修得には
押印×60個(2単位)
短大は30個(1単位)

〈単位修得〉



〈押印60個達成〉 (短大30個)



単位修得のため報告書作成

〈記録〉



活動を記録します

対象となる活動

- ・学部、学科、専攻単位で行っている活動
- ・学部、学科、専攻の学生のサークル単位で行っている活動
- ・地域教育・連携センターがコーディネートして行っている活動
- ・学生ボランティア活動支援室がコーディネートして行っている活動
- ・学生の優れた取り組みに対する支援(学生支援GP)を受けて行っている活動

上記に示す地域貢献活動、ボランティア活動などが、自由科目(地域教育関連科目)の単位認定につながります。

令和3年度SUDachi CARD発行人数 845人(令和4年3月31日時点)

活動の一部紹介

人とサル共生プロジェクト ~木頭ゆずちぎりたい(隊)!~



過疎高齢化が進む那賀町木頭村で、未収穫のゆずがサルの餌とならないよう収穫を手伝いながら人とサルとの共生を学ぶボランティア体験学習を実施しています。

書道パフォーマンス



本学と徳島県議会との包括連携協定に基づく事業の一環として、徳島県議会議事堂1階ホールで文学部書道文化学科の学生が「書道パフォーマンス」を披露しました。本取り組みは平成24年度から毎年行っています。学生は音楽に合わせて楽しくパフォーマンスを行い、見事に作品を書き上げました。



学生の声 ~ボランティアに参加してみて~

- 地元に貢献できたことで、地元への愛が強くなりました。
- 地域と一緒に何かをすることで、周りの方々のあたたかさや優しさを感じることができました。
- 何もなさそうな場所から、魅力がたくさんあって足を運びたい場所に変わりました。
- 幅広い世代と関わることで視野が広がり、考え方や価値観が変わりました。

- 人との交流が増え、コミュニケーション能力がつき、大学生活が楽しくなりました。
- 県外出身で徳島について知らないことがありました。自然や伝統・遊びなどたくさんことを知ることができました。
- 今まででは何とも思っていなかったことに対して問題意識を持つようになりました。